

松江市立天文台～9月の天文教室～

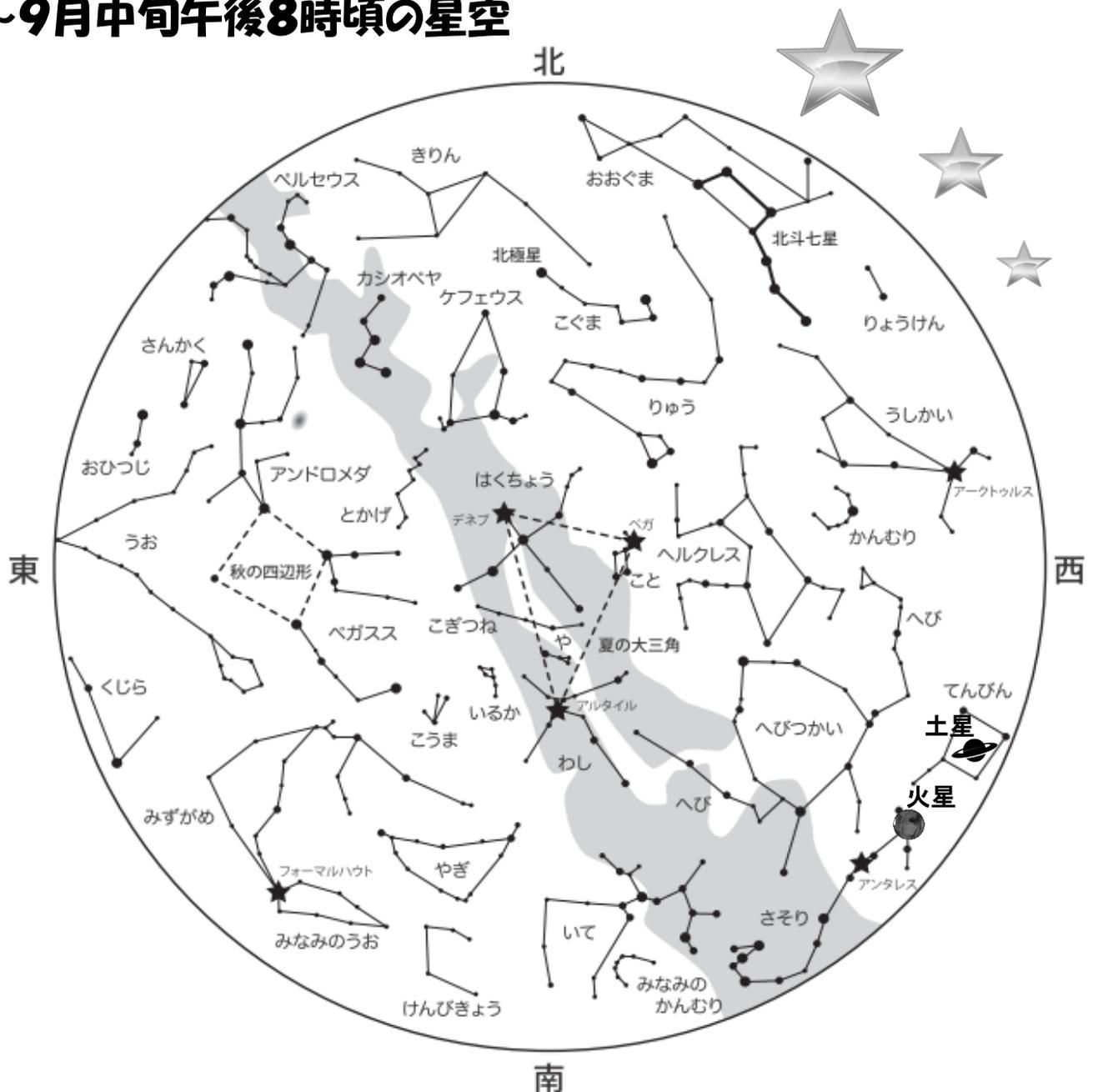
2014年9月17日

夏は異常気象で雨が多く、星空をあまり見るできませんでしたね。

9月になると日没が早くなるので、暗くなったばかりの時間には、まだ夏の星たちを見ることができます。

秋の澄んだ空気の中で、夏と秋二つの季節の星座を観察してみましょう。

～9月中旬午後8時頃の星空



9月中旬午後8時頃の星空です。

土星や火星はこの時期の位置を示していますが、見かけの大きさは強調してあります。

月は夜半過ぎに昇るので、この時間は見えません。

実際の空を見ながら星を探すときは見る方角を下にして見てみましょう。

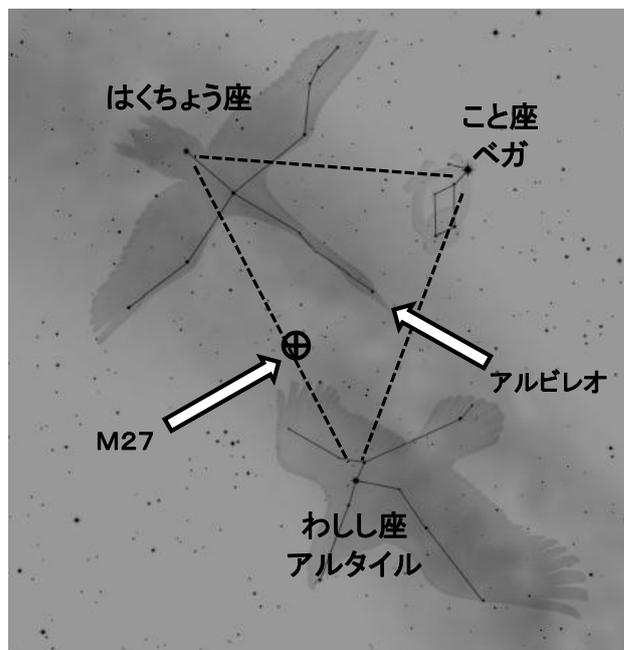
夏の大三角

夏の星ですが、この時期は暗くなった空で、ちょうど真上に見ることができます。

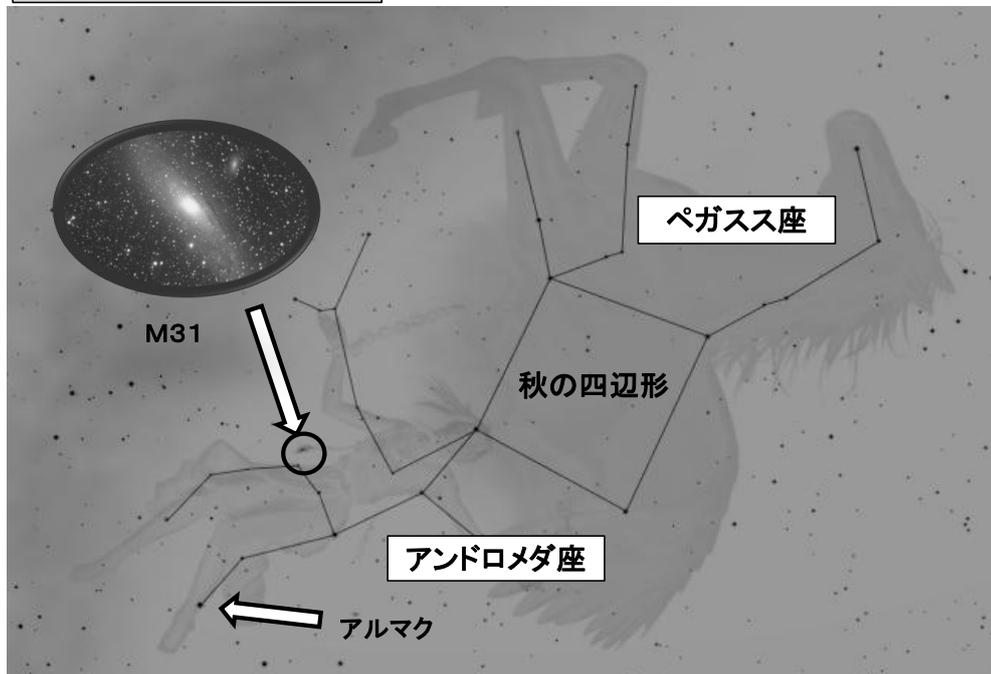
夏の大三角は、夏の代表的な3つの星座の1等星を結んでいます。

明るい星で構成されるため、街灯のある町中でも見つけられます。さらに郊外では天の川と一緒に見ることができます。

夏の大三角周辺には、オレンジと青の色の対比が美しい二重星アルビレオや代表的な惑星状星雲のM27があります。



秋の四辺形



夏の大三角に対して、秋を代表する星の並びが秋の四辺形で、ペガサス座とアンドロメダ座の星で構成されます。

M31(アンドロメダ大星雲)は、肉眼でも雲のように見える存在として昔から知られています。

アンドロメダ座の左足首の星アルマクは美しい二重星として有名です。

※ 使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。
空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。



特報！ 10月8日は皆既月食！
次回天文教室は皆既月食観察会です。

開催日 10月8日(水) 19時から21時まで

(受付は18時30分から市役所正面玄関で行います。)

事前の予約は不要です。



★ Matsue Astronomy Club
MAC 松江星の会